

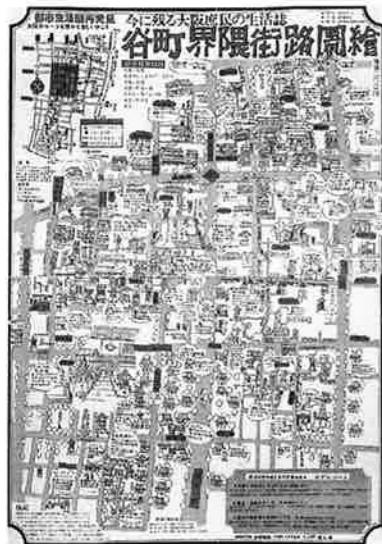


先日、リスボンにザビエルの足跡を訪れた。先年のリオデジャネイロのスラム街に滞在した時「地球の裏側に行つたつもりが、実は日本が裏だった」という経験がポルトガルに足を向けさせた。かの地は辻邦生、司馬遼太郎による戦国期の世界観から進展がないと思っていたが、人口一千万ながら南米など世界に一億人の同系人という世界国家もある。ギリシャと同じく世界に見られそなうだが、全く独自の経済と国土基盤整備が進み世界

界の観光客で大変賑っている。写真は、リスボンの路地である。時刻は午前2時。これから朝まで路上が酒場となる。生ジヨッキが一杯目!ユーロ、店内も誰が客か冷やかしかなど関係なく、外国人と地元民が入り乱れてロックと酒に揺れる。この路地はしかし、1775年の歐州最大の震災・津波の復興都市計画で造られた直線道路である。直線の街路は複雑な地形の高低差と組合つて何とも不思議な感覚の街並みであり、道路としてのエレベータがいくつもあり、一見の価値がある。さて、路地と言えば空堀である。空堀の路地は高低差のある地形と、計画的な格子状の街区共通する。上町台地の坂、瓦のパターンという点はリスボンと

土取りによる坂が混然一体となつて形成されたものだ。全国に数ある路地の中でも、空堀の獨自性は特筆に値する。全国路地のまち連絡協議会の発足した翌年2004年8月に空堀で第2回路地サミットを開催、路地宣言を採択した。私が空堀の路地を発見し、通いだして40年以上になるが1978年には谷町踏査団というグループで空堀界隈のイラストマップを制作発行した。その後、京都大学や様々な大学で研究の地となつてきており、歴史的まちなみや町家・長屋ブームの先駆けとなってきた。その路地が近年急速に消滅している。

空堀が路地も商店街もないマンションだけの町なつた姿を。決して、路地と言えば空堀である。空堀の路地は高低差のある地形と、計画的な格子状の街区共通する。上町台地の坂、瓦のパターンとしてのエレベータがいくつもあり、一見の価値がある。さて、路地と言えば空堀である。空堀の路地は高低差のある地形と、計画的な格子状の街区共通する。上町台地の坂、瓦のパターンという点はリスボンと



(ダン計画研究所 吉野国夫)

仲間と数年踏査して1978年に発行した手作り地図

想像してほしい。空堀が路地も商店街もないマンションだけの町なつた姿を。決して、路地と言えば空堀である。

その路地が近年急速に消滅している。



空堀界隈のすばらしさを失うな

◆ 路地の奥は私有地が多いのでご注意ください。
◆ 美しい石畳や木造家屋にゴミは似合いません。
◆ 商店街は生活の場でもあります。節度とマナーで笑顔が増えます。

◆ 「空堀界隈を散策される皆様へ」

本紙発行者 永井さんは、私が大阪市のH.O.P.E.ゾーン計画でお世話になり、今もその理念を継承した活動に邁進されており、私は大いに尊敬している。本紙の活動も含めぜひとも皆様の積極的なご支援をお願いして筆をおきたい。

お年寄りの皆さん、住み慣れた町で楽しく充実した暮らしが続けられることを願って、支援活動や暮らしの潤いになる様々な企画を推進しています。

■ 桃谷会館 ☎ 06-4304-2266 ▶ ふれあい食事会
▶ 11月17日(金) ▶ 桃谷地域にお住いの70歳以上の方 ▶ 会場: 関電会館 ▶ 時間11:30~14:00

■ からほり悠 ☎ 06-6765-1566 ▶ 落語会 ▶ 桂二葉
▶ 11月17日(金) 19:00~ ▶ 参加2,000円(お茶、お菓子付き)

■ 隆祥館書店 ☎ 06-6768-1023 ▶ 11月18日(土)
15:00~17:00 ▶ 「ウイスキー・アンド・シネマ2 心も酔わせる名優たち」 武部好伸さんとトークライブ

■ 楓 ☎ 06-6761-0355
◆ 11月7日(火)~12日(日) ▶ 「入江陽子展」彫刻/木
◆ 11月14日(火)~19日(日) ▶ 「奥田崇美子・丸居眞記二人展」立体/パルプ・石

■ ひなたぼっこ ☎ 090-6911-8314(久我) ▶ 目指せ小顔フェイスupトレーニング ▶ 11月10日(金) 13:00~14:00 ▶ 参加2,000円 ▶ ケーキセット別途730円

会のお知らせ

お買い物は空堀商店街で

☆編集後記

「商店街まるごと民泊で空き店舗活用(大津市)」という取り組みをやっています。未届け民泊が増えるのは怖いけど、地域と連携したり組みでうまくことやつていけるならアリかもしませんね。もちろん違法はダメですよ。(のぶ) 大阪では希望と維新が取引し希望は候補を出さない、維新と公明は住み分け、有

「からほり新聞」は高齢者外出介助の会に集う有志が、愛する「からほり」の賑わいを願つて作つておる。ご意見ご感想・投稿・イベント情報などお待ちしております。また、「新聞置いてあげてもいいよ」とおっしゃつてくださるお店も大募集。

「からほり新聞に参加したいなー」と思われる方、大歓迎です。「気軽に連絡ください。(現在5カ所設置)

権者の選ぶ権利をどうしてくれる! 今日は変則的な印刷です。プリンタマシンセントラーさんが100枚カラー印刷でしてくださるというのであわてて1面を作りました。いかがでしょうか? 後の原稿も早くそろいますように。(ケラ子) 温かい食事がしたくなる季節。最近存在を知った、かす汗を特訓しています。(岡田)

- ①外出介助(買い物、お墓参り、通院など)
- ②暮らしサポート(買い物、薬取り、入院時支援など)
- ③車椅子貸し出し(お気軽にご利用下さい)
- ④生きがい作り講座(童謡・唱歌を歌う会、布ぞうりなど)
- ⑤ハーモニカ教室
- ⑥「からほり新聞」制作

平成30年版スマートカレンダー お求めは、からほりさんまたはウェブで



サイズ約 60X42cm ¥13,489(税込み)

アトリエ ビエント
<https://www.atelier-viento.com>

一日
瞭然

今日の日付は、デジタル
予定は、紙のカレンダー

特定非営利活動法人 高齢者外出介助の会とは?

大阪市中央区松屋町4-8 メイツ松屋町1階

TEL&FAX 06-6764-4002

月~金(10:30~17:00)

E-mail: odekake@helen.ocn.ne.jp

ホームページ: odekake-karahori.com

学校で支給のパンを

兄弟で分け合つて

福田米一さん 昭和7年生



5組あつたのが3組位に減つて
おり、疎開先から帰らなかつた
わされたり、色々事情があつた
のだと思います。

或る日、父は通学の不便を
思つたのか、突然近くの布施日
新工業学校に転校の手続きをし
てくれ、私は以後この学校で学
ぶことになりました。卒業後は
家業、綿の打ち直し専門の製綿
業を引き継ぎ、46歳まで操業を
続けました。

ニュースで気になつたこと

9月26日のニュースで96歳の方が京都伏見区の近鉄向島駅のホームで通過中の電車と接触し死亡したという記事を見ました。読んで思ったのは介助者がいなかつたということと、しっかりと強引に重なった。読んだので介護保険を受けてないか要支援だったのではないかと、しつかりした方の会はこんなみなさんの外出をサポートしていくとした。過去形なのは、最近依頼激減の上、あってもボランティアさんが散つてしまつて介助に行する方が少なく受けられないことが多いのです。去年度も実際に同行した件数は1件でした。

つい最近もサロンに来られた高齢の方の荷物がいっぱい不安になり声

高齢者外出介助の会
事務局長 永井佳子

を掛けると「大丈夫。ゆっくり行くから」断られたのですが、居合わせた会員が「いいから、いいから」とちょっと強引に重たい荷物を持って一緒に出ていき、何とか送つて行つたのが1件。これで上位の依頼に対応していました。原因は介護保険が始まると事業所との関係が生まれると、それ以外の団体とかわるの煩わしいでしょう。一般的に高齢者は立つているのも不安定です。耳も遠い方が多く動作もする方がいてくださいます。安全なところで待つことも出来る時ぐらいサポートできないものかと思つたのです。

第二次世界大戦が始まつた昭和16年12月、私は東成区大成国民学校の3年生でした。学校名稱も国民学校と変更され、日本軍の武運長久を祈る為に、近くの熊野神社へ度々参拝に出かけました。軍事色が強まつて教練の時間が増え、掛け声をかけながら運動場を何回も廻つたものです。先生も出征される方が多く、あとは年配の先生や師範学校で出たての若い先生ばかりでした。

終戦になる二十年の春、六年生だつた私は旧制中学校を受験。当時は筆記試験最中の空襲を恐れてか、内申書だけの審査でした。

東淀川にあつた淡路工業学校（前身は浪商）の機械科に合格。

に延期されて4月20日になつてしましました。教科書は購入したもののはろくに本を開くまゝも無い6月7日、木造二階建ての校舎は空爆を受けて焼失していました。仕方なく近所の南方の小学校をお借りしての授業でしたが、空襲が激しさを増す為に勉強どころではなく、南森町の焼け跡の整理や空き地の野菜作り等に駆り出されることが多くなりました。柴島のあたりでは何体かの死体も目にしました。焼けた校舎の跡地は、高射砲の陣地が予定されていたそうです。

欠席する生徒が増える中、登校した生徒には学校から「豆入りのコッペパン」が1本ずつ支給されます。私はそのパンを食bezuiに大切に家に持つて帰り、

母はそれを二つに切って弟と妹に食べさせていました。食糧不足は益々深刻になり、遅配が増え、時々ある魚の配給も、せいぜい「ホウボウ」。砂糖の配給も減らされ、甘党の我が家は打撃でした。

終戦の8月15日、私は疎開先、城東区深江橋近くの自宅に居ました。前日の14日は、近くにある森之宮の砲兵工廠が大空襲を受けた日で、とても通学できる状態ではなかったのです。それでも終戦になつたからには登校しなくてはと、翌16日、片町線は線路の上を歩き、天六から柴島迄は電車に乗つて、長い時間をかけて学校に辿り着いたのを思い出します。途中の京橋駅では大勢の遺体を見ました。

突然の衆議院解散で、選挙ということになりますが、安倍首相の思惑と違つて、小池百合子さんが「希望の党」を立ち上げ、さらに驚いたことは、党首になつたばかりの前原さんが全員「希望」へ移り、そこから立候補すると、民進党を解党する判断を行なつたことです。

しかし、小池さんは超保守派の中山恭子さんを入党させ「希望の党は保守である」と宣言し、民進党のリベラルな人は受け入れられない踏み絵を課したのです。

自民党より保守的な政党が第2党となり政権を争う気配ですが、国会のバランスがグンと右寄りに傾くのは心配なことで

す。思想や政策が似ている勢力が選挙後に協力すれば、何が決められるか分かりません。

ところで衆議院選挙に立候補するには、供託金が三百万円も必要です。このような高額のお金が必要なのでは、私たちが推薦して立候補して欲しい人がいても、大きな組織でないと用意できません。成熟した民主主義国家で立候補に高額な供託金がいる国はほとんど無いそうです。

選びたい人が候補者になり、私たちの代表として国会で活躍してくれるのですが、投票したい人がいない！になりそう。そんな選挙になつて欲しいのですが、投票したいことは誰にでも起るかも…。でも車いすからは世の中がよく見えてくる。そんなおじさんの考えたことを連載で。

からほり新聞に

広告掲載しませんか？

サイズ 49mm×79mm 3,000円

サイズ 33mm×79mm 3,000円

(2回連続 5,000円)

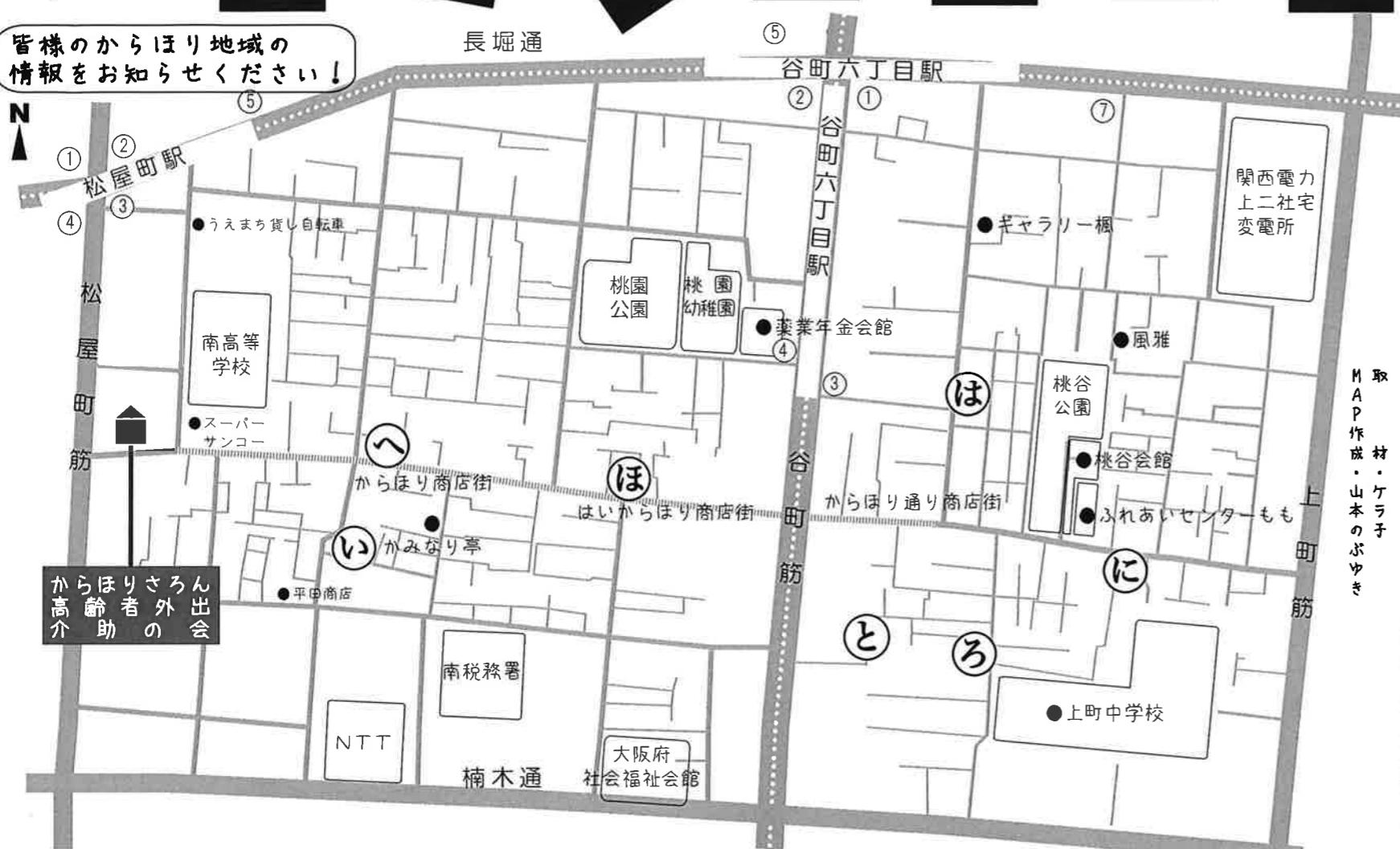
高齢者外出介助の会 06-6764-4002

高齢者外出介助の会 06-6764-4002

てろてろくらぶ▶毎月第二曜日▶13:30~15:00▶参加200円▶からほれすろん▶問い合わせ06-6764-4002

からほり界隈お散歩MAP

皆様のからほり地域の
情報をよろしくお知らせください!



◆この窯、イソライトかまどというそうで珪藻土を焼成して作られていて断熱性が抜群だそうです。
いまは使われないで道端に。



◆縁さんは古い家をリノベーションして使われているのですが、ご飯を窯で炊いているとアピール。置きおかま。



◆道端に大きな石があちこちに置いてあるので、これもと?ソーマ化粧品前にあるのを見ると想真觀音と彫ってありました。



◆空堀の階段はあちこちにあり、コンクリート、石などと煉瓦もあります。ここは煉瓦と共に敷石の名残で石臼も使われています。



◆このお好みやさんの建て替えられる前を見たいですが、冠木門があったのでしょうか。路地の入口にあります。



◆お好み焼き屋さん。丸、三角、四角焼きなんて読んでいたのですが、正しい読み方を聞くと曼荼羅焼きと教えてもらいました。



◆坂の多い町でこれも空堀の坂を生かして、空間を上手に使ったはると不思議より工夫を見てください。階段を使った駐輪場。

其の38 ~空堀の捨いもの~

がすて魚いわの石るむ形地れ 結物
あ。なのろれでのこきでもて空堀 空堀を見
るまと住いた捨道と出階まいは 空堀を歩き面白い、首をひね
とだ。まろかて道具がしへ段だまはアス・アル
と思ま秋いを、るるでも残すが、フアル
いだは、見道のいき階段ちて石を敷ト
ま見歩投つ端もがま段ちて石を敷ト
ますつく光けにも。すく段ちて石を敷ト
けの器ま火つと。堀、ちまます。いに道が覆
たにのし鉢たれ敷、に。いに石壁。
らい入たのいに石壁。複て道が覆
面いれ。活な古になレ複て道が覆
白季物物用いいはどん雑いが覆
い節と入法と町昔にがなる覆
のでし、の思なの見も地路わ
のでし、の思なの見も地路わ

◆このお好みやさんの建て替えられる前を見たいですが、冠木門があったのでしょうか。路地の入口にあります。

今回の傑作 空堀人は名田キ
ツズポップファイルハーモニー樂
団 設立團長 北原さとみさん
プロのピアニストで活躍する傍
ら、子供たちに楽器演奏を通じ
て生きる力を育めるよう活動し
ています。そんな北原さんにお
話を伺いました。

すらっと背の高く、明るく、
元気な北原さん。普段はニュー
オータニやリーガロイヤルなど
一流ホテルでピアノ演奏をして
います。北原さんは20代から25
年以上、ピアニストとして現役
で活躍されています。ドレスア
ップした北原さんは、一段とき
れいで華やか。

そんな北原さんがこの楽団を

語立しようとと思ったのは、せいかく身に着けた音楽の技術を活かせていない人が予想以上に多かったから。そして、自身の経験から、今の子供たちに必要なのは学歴や勉強ではなく、人間関係やコミュニケーション能力をもって仕事をする上では信頼関係を築くことと信じています。 楽器演奏者と子供たちをつなぎ、活動することで子供たちが社会に出たときに生きていく力を高めたいと思い、2016年5月に楽団を設立しました。

周1回月曜日に行われる練習をはじめ、土日のほとんどをイベントで演奏する機会にしました。楽団の特色はとにかく「子

会に恵まれました。北原さんは供たちの成長を感じたそうです。そして、わかつたのは親が喜ぶことと、子供たちが喜ぶポイントのちがい。大人たちは知名度の高い場所で華々しく楽器演奏するのを喜びます。けれど子供たちは自分自身、もしくは子供たち一人ひとりが頑張ったことを認めてもらえたと感じる生の言葉や直接的な触れ合いが多いイベントを喜びます。その違いをどうバランスとっていくかがこれかららの課題。

「とにかく子供はいろんなことを吸収します。その時にたく



★本楽団では寄付・スポンサー、
協賛者を募集中です★詳しくは
(岡田由佳子)

谷町キッズポップフィルハーモニー楽団
事務局 大阪市中央区内木町1-23-13

豊田市中央図書館 2F
谷四ばんらいビル5F

電話番号: 06-6944-2588

メール: pop@tanimachikids.jp

供が主体」ということ。始まりの挨拶から演奏、終わる挨拶まで大人はあくまでサポート役に徹しています。楽団はステージ演奏や

子供たちが社会に出た時、
楽器演奏の体験を生かして、
生きていぐ力になるようサポートしたい

谷町キッズポップフィルハーモニー楽団
設立団長

北原 さとみ さん

勝手にからほり雑見ニュース

桃園地域 防災訓練(體驗型)

桃園會館 ☎ 06-6762-5599



大阪芸術劇場 ☎090-1962-6609

☎ 090-1962-6609

こけら落としが秋分の日の9月23日行われました。以前から空き家になっていたのですが、空堀まちなみ井戸端会は推奨建物としてプレートを付けさせてもらっていた建物です。お祓い筋を入れるとすぐのDRILL&DRILLの裏に位置します。

大正後期から昭和初期にかけての大阪は「大大阪」と呼ばれ、文化、藝術、教育、産業の分野では日本の中心となっていた時代です。こんな時期に思いを馳せて、大阪空襲でも焼け残った大阪中央区空堀に近い路地にさまざまな分野の仲間が気軽に使えるような活動の場を作りました（藤田富美恵）

昔は水の質が良く白蟻を作るのに最適の場所だったそうですが、明治に入り大正になると蠟燭や日本髪が廃れ晒蝋作りは廃業に追い込まれ、借家として住宅だけが残ったそうです。

当日は「こけら落とし記念」講演は橋爪節也氏と対談は秋田実の思い出を藤田富美恵さんと。伊藤純さんの「銀塩カメラが見た空堀」を語るで大いに40年前の空堀を語られました。

げんキッズ応援隊 ☎080-5319-0799

緩やかなママたちの集まりで去年の9月から始めました。メンバーは20数人と時間の空いた方や都合の付く方が参加されます。子供や子育てのお応援で去年の秋のバザーの売り上げは全額被災地の子供宛てで送ったそうで今回は中央区の子育てプラザと被災地の子供と二分したそうです。今はやりの断捨離もかねているそうで、販売品の8割は子供服、おもちゃなどと主催者。

